

よえもん

- Joemon -

今月のことば

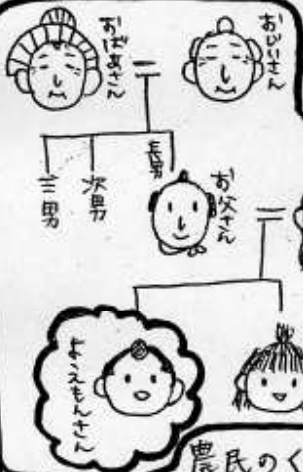
善悪のむくいは谷に
 声をあぐるがごとくなれば
 善を思い善をなこなうには
 必ず善のむくいあり

書・沢田瑞穂さん
 出典・中江藤樹著
 鑑草巻の一

こんにちは!
 夏の良い天気が続きますね。熱中症に注意!
 2013年7月 第3号

シリーズ"よえもん" 第2回 よえもんさんの家族って?

よえもんさん(中江藤樹先生)は、小川村(今の高島市安曇川町上小川)に生まれました。お父さん・吉次、お母さん・市、妹・葉と4人で暮らしていました。そして、数え9歳のころに立派な武士になるためにおいさん・吉長の養子となりました。



おいさんは武士ですが、お父さんは農民でした。おいさんの後を継いだお父さんでしたが、農民として暮らすことを選んだのです。そのため、よえもんさんは農民の子として生まれ育ったのです。

15歳から27歳まで大洲で武士として仕えていたよえもんさん。農民の暮らしを理解しているため、農民にとっても心強い存在だったのではないのでしょうか。

「善悪の報いは、あなたも《やまびこ》のようなもので、善き心で善き行いをすれば、必ず善き心えが自分にかえてくる。」という意味になります。そして、『これ誠に天地感応の妙理なり』としめくられます。



つまり、「これが人間社会をつらぬく不変の法則だ」というのです。誰も見ていなくても、善行は必ずどこかで自分の身にかえてきます。今日、幸せな気分でいられたのは、あの時の善行のお陰かもしれませんね。
 参考・中江彰著「鑑草ものがたり」



入館者から「説明がわかりやすかった」「藤樹先生の教えが全国に届くように祈念する」等々、お礼の手紙がよく届きます。嬉しい瞬間です。一方、先日、「休館日を明示してないのは不親切だ」というお叱りがありました。また、入館者同士の靴の履き間違えもありました。(未解決) 一層、心して管理運営に努めてまいりたいと思います。

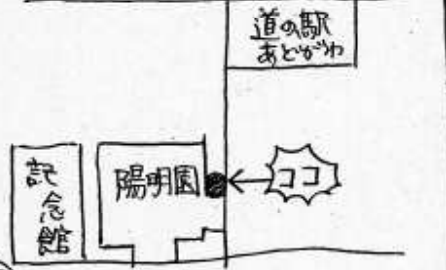
記念館さんぽ

7月に見ごろをむかえ花は、木槿(ムクゲ)です。陽明園の陽明門の手前に植わっています。道路沿いに見るこじができるのでおさんぽ気分で見に来て下さい。近くに花梨の実もできているので探してみして下さい。

「真にわたり!!」



至陽 161号バイパス 至新地



近江聖人中江藤樹記念館
 高島市安曇川町上小川69

TEL (0740)-32-0632
 FAX

西晋一郎博士の回顧展 開催中!